

木の芽福祉社会 presents

ケアと生きるスペース

～村上靖彦氏講演会～

村上さんより…

競争に追い立てられる社会のなかでどのように生きるスペースを見出すのか。ケアすることとケアを受け取ることを一方的な非対称の関係にすることなく、どのようにフラットでスキ間をうみにくいコミュニティをつくりうるのか。傷つけることを含み込んでしまう人間関係において、どのようにケアをなりたたせるのか。私が出会ってきたいくつかの現場で学んだことを通して考えて行きたいと思います。



スキ間をうみにくいオルタナティブ
(既存・主流のものに代わる何か)
な社会をどう作っていけばよいか、
村上さんと一緒に考えてみませんか。

2025年6月28日【土】

14:00～15:30 (13:30 受付開始)

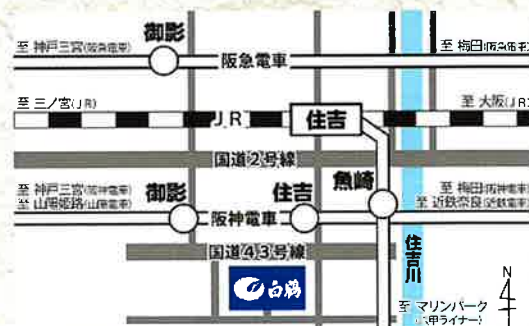
定員 先着70名 どなたでもご参加いただけます (要事前申込)

申込 裏面からFAXもしくはオンラインでお申し込みください

会場 白鶴酒造資料館

参加費 無料

ご参加お待ちしております



神戸市東灘区住吉南町4丁目5-5

【参加ご希望のみなさま】

下記の申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください



078-843-0598 社会福祉法人木の芽福祉会 宛



WEB 申込 (Google フォームからお申し込みください)



お名前	ふりがな	メールアドレス
電話番号		ご所属
備考		

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

※電話でのお申し込みは受け付けておりません。

※定員オーバーとなった場合のみ連絡させていただきます。

※お車でご来場を希望される方は備考欄に記載ください。

村上靖彦氏 ご略歴

1970 年、東京都生まれ。基礎精神病理学、精神分析学博士（パリ第七大学）。現在、大阪大学大学院人間科学研究科教授、大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) 兼任教員。専門は、「困難な状況にある当事者やその人々をサポートする支援者の語りを分析する」現象学。著作に、『在宅無限大―訪問看護師がみた生と死』（医学書院）、『子どもたちがつくる町―大阪・西成の子育て支援』（世界思想社）、『ケアとは何か―看護・福祉で大事なこと』（中央新書）、『「ヤングケアラー」とは誰か―家族を“気づかう”子どもたちの孤立』（朝日新聞社）、『客観性の落とし穴』（ちくまプリマー新書）、『傷の哲学、レヴィナス』（河出書房）、『すき間の哲学―世界から存在しないことにされた人たちを掬う』（ミネルヴァ書房）、『アイヌがまなざす―痛みを聴くとき』（石原真衣氏との共著）（岩波書店）ほか多数。

主催：社会福祉法人木の芽福祉会 共催：木の芽福祉会をささえる会

協力：白鶴酒造株式会社

【お問合せ】

御 影 倶 楽 部 078-843-0567

地域活動支援センターあんず 078-841-7097

